

研究倫理：早稲田大学の取り組み

— 研究と教育における倫理性の涵養と保全 —

早稲田大学人間科学学術院
土田友章

研究倫理の発足

Bioethics(生命倫理),

Ethics of Research involving human subjects(人を対象とした研究の倫理),

Research Integrity and Research Ethics(研究の健全と研究倫理)

の分化

- 参考: アメリカ合衆国での研究倫理の位置づけ

- The President's Council on Bioethics →

- The Presidential Commission for the Study of Bioethical Issues

- The Office for Human Research Protections (**OHRP**),

- DHHS(Dept. of Health and Human Services)

- The Office of Research Integrity (**ORI**), DHHS

研究倫理の進展

世界のおもな綱領・宣言・声明

- Nuremberg Code (1947)
- WMA Helsinki Declaration (1964-)
- U.S. DHHS, Belmont Report : Ethical Principles and Guidelines for the Protection of Human Subjects of Research (1979)
- 日本学術会議「科学者の行動規範」(2006, rev. 2013)
- World Conference on Research Integrity,
Singapore Statement on Research Integrity (2010),
Montreal Statement (2013)

早稲田大学での発足 (2005年頃から)

- 合衆国保健省 ORI(The Office of Research Integrity), OHRP(The Office for Human Research Protections), The NIH Department of Bioethicsなどを訪問;
- ORI's director, OHRP's acting director, EFGCP's (The European Forum for Good Clinical Practice)cochair, 日本側関係者などを招請, 早稲田大学でsymposium;
- Prof. Nicholas Steneckをお招きして講演会, など
- 学術研究倫理委員会の協力を得て, 「研究倫理概論」を開始, 2008年
- 早稲田大学研究倫理オフィスを設置
- WCRI (World Conference on Research Integrity)に, 第2回 (Singapore)から参加, 第3回(Montreal), 第4回(Rio de Janeiro, 今年5/31-6/3)

研究倫理の実践

■A しくみ

- ・法令, 指針, 規則の周知
- ・研究倫理の支援と管理

委員会, 人を対象とする研究に関する運営委員会, 人を対象とする研究に関する倫理審査委員会,

生物実験管理委員会 {遺伝子組換え実験審査委員会}, 動物実験審査委員会;

ハラスメント防止委員会;

学術研究倫理委員会

公益通報対応委員会 Whistle-blowing Handling Committee

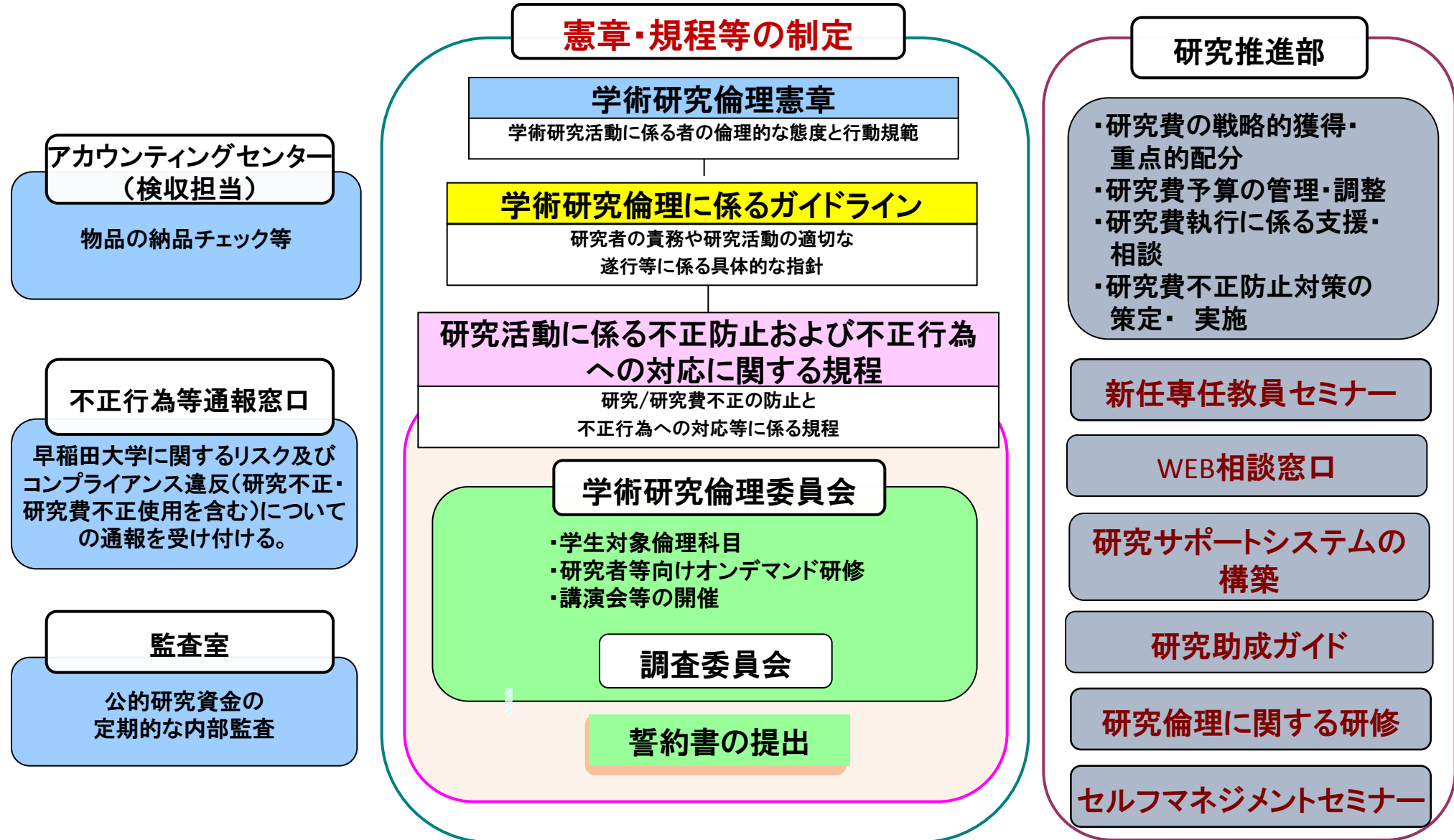
■B 教育

- ・『研究倫理概論』2008- (2015年度春学期学部生・院生受講者1043名, 教員)
- ・ 諸々の指針・規則・宣言
- ・ 周知のための文書: 「学術研究倫理ガイド」「利益相反マネジメントガイド」, ほか

■C 現場: 研究遂行の場 実験室, 研究室, fields

正直, 厳密, 透明, 人格の尊重; ⇔ sloppy science, questionable research practices

早稲田大学の不正防止に対する主な取り組み



研究活動に係る不正防止および不正行為への対応に関する規程

・研究／研究費の不正防止等に係る規程

- 学術研究倫理委員会の常設
- 不正防止：研修等、誓約書の提出

対象：公的研究費の課題に参加する
全ての研究者
：公的研究費の運営・管理に
関わる者

(様式) 研究代表者・分担者用 (研究費用)

誓約書

早稲田大学総長 殿

私は、下記研究課題に係る研究費の交付申請書に添付した誓約書にあり、以下の誓約事項を守ることを誓約いたします。なお、本誓約に違反した場合には、早稲田大学や研究費交付元機関等から処分を受けること、および法的な責任を負うことを承知しております。

【研究情報】

(区 分) 研究代表者 研究分担者
(研究費名) 戦略的創造研究推進事業
 北大大学域横断的研究基盤形成支援事業
 その他の研究費
(研究課題名) _____

【誓約事項】

- 「早稲田大学学術研究倫理憲章」および「学術研究費に係るガイドライン」に定められた精神に照り、「研究活動に係る不正防止および不正行為への対応に関する規程」(2007年規程第 67-01 号)および当該研究費の総則規程等を遵守して、交付された研究費を適正に使用すること。
- 不正行為を行わない、もしくは不正行為に関与しないこと。

日付: 20 年 月 日

署名箇所: _____
姓 名: _____
氏 名: _____ (自 署)

(印刷された記入用紙を記入してください。研究費交付申請書より、誓約書とそれに関する確認書等の提出の義務付けられている場合も併せて提出ください。)

【誓約取得日記入欄】

誓約書提出日	20 年 月 日	研究推進部受理日	20 年 月 日
交付資料有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	提出済	
備 考			



学術研究倫理委員会

<http://www.waseda.jp/rps/ore/jpn/committee/index.html>

学生対象倫理科目・教職員対象研究倫理研修

・学生対象倫理科目

「研究倫理概論」－研究者を目指す人々へ－

対象 / 大学院生・学部3年生以上

講義内容

- ・研究ノートとデータ管理の実践
- ・被験者保護の基本
- ・研究倫理と企業倫理
- ・知的財産権をめぐって 他

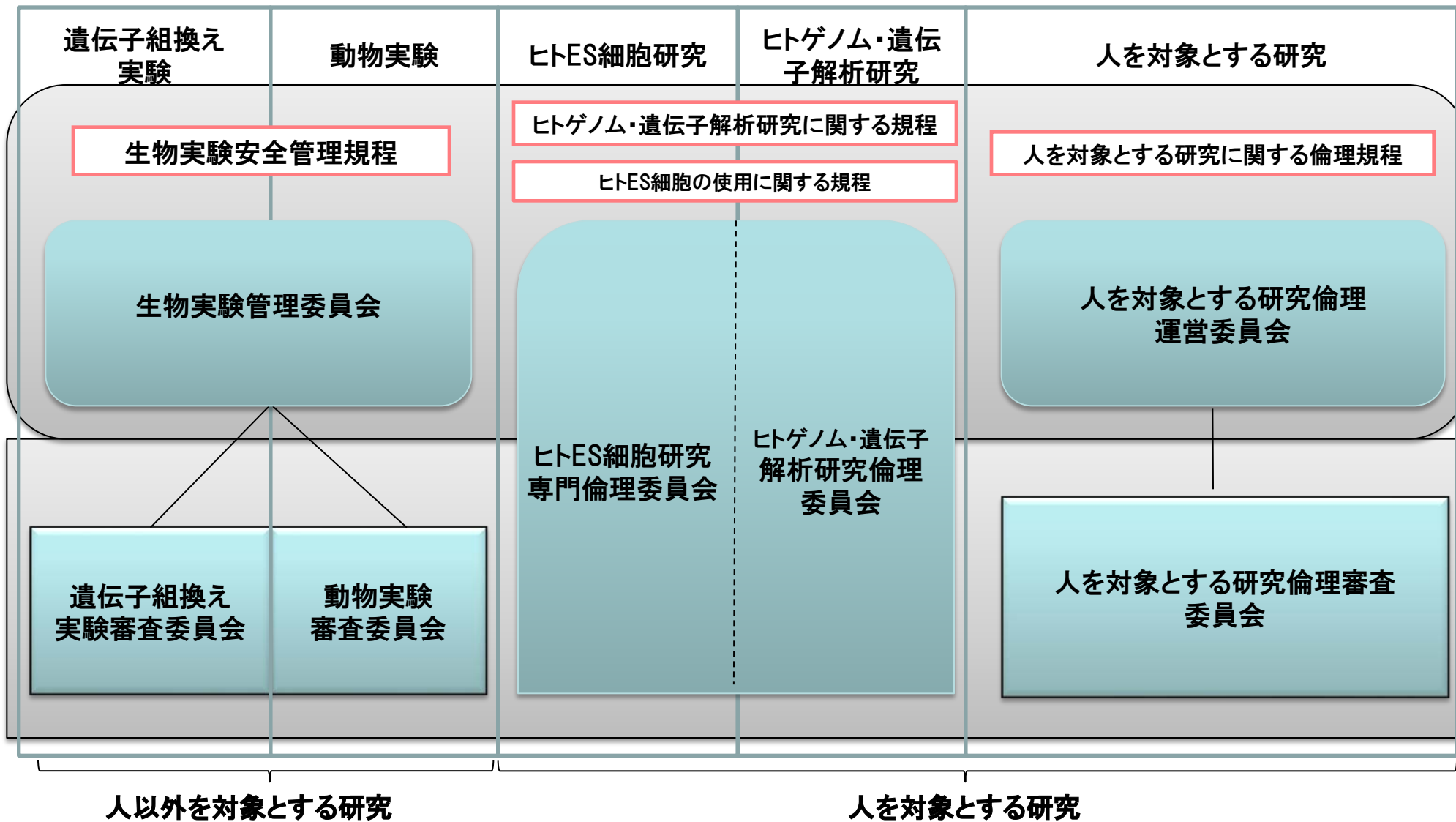
・教職員対象研究倫理研修(Course N@vi 等)

- ・「なぜ研究倫理か」
- ・「研究における不正行為:FFP(ねつ造・改ざん・盗用)の実際」
- ・「研究における不正行為と法」
- ・「研究ノートとデータ管理の実践」
- ・メンターとトレイニー, Authorshipと出版の倫理, 共同研究 他

研究倫理科目・講習・情報公開

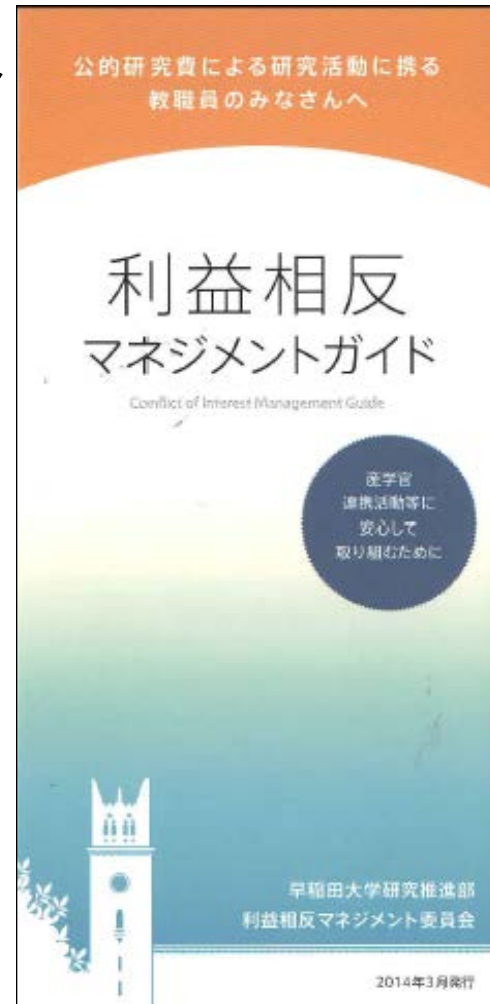
<http://www.waseda.jp/rps/ore/jpn/subject/index.html>

研究倫理に関する審査体制



公的研究費に関する利益相反マネジメント

- 公的研究費に関する利益相反マネジメント
規程の制定
- 利益相反マネジメント委員会の設置
- 公的研究費の支給を受けて行う研究
(公的資金研究)について、年度毎に
利益相反マネジメントを実施



安全保障輸出管理

- 国際的な平和および安全の維持を目的として、武器や軍事転用可能な物や技術を核兵器等の大量破壊兵器の開発を行っている国やテロリスト等組織に渡さないための制度で、日本では「外国為替及び外国貿易法(略;外為法)」に基づき遵守することが必須。

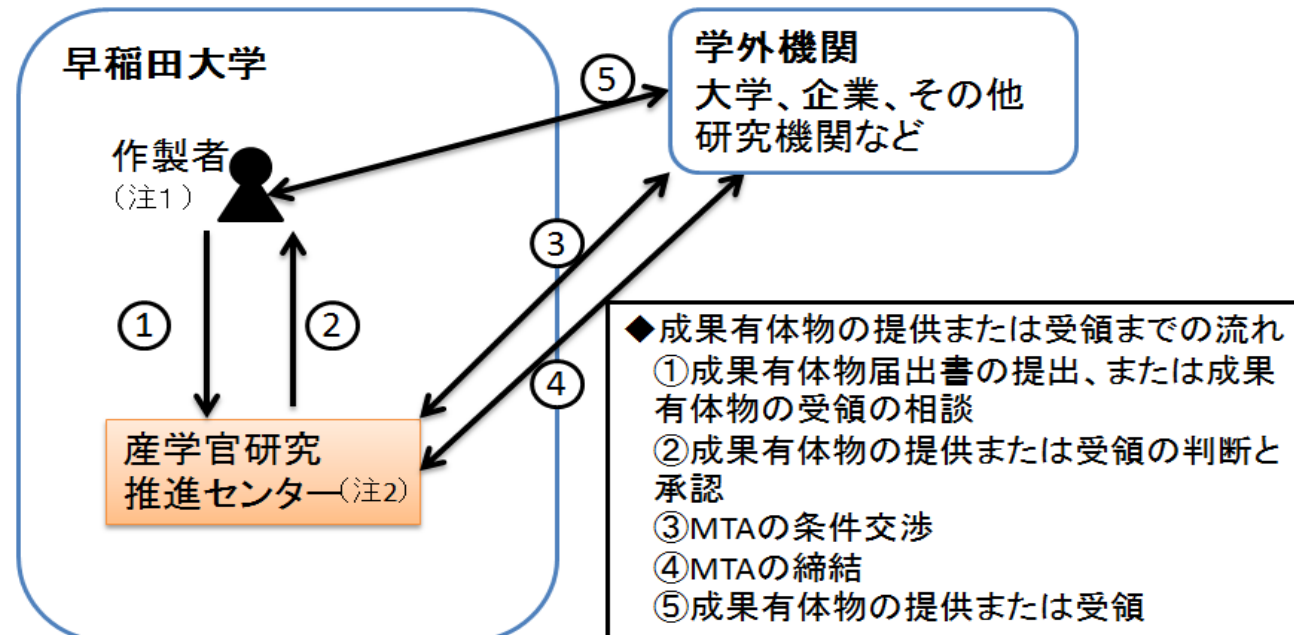
大学においても、海外出張、機材等の海外送付、海外への技術提供、外国人教員、外国人研究者、留学生の受入れの等の活動において規制対象となる可能性があるため注意が必要。

輸出管理ホームページ: <http://www.waseda.jp/stc/index.html>
相談メールアドレス: stc@list.waseda.jp



成果有体物の取扱い

- 成果有体物とは・・・学術的価値または財産的価値のある材料および試料、化学物質、試作品、モデル品等



- ・注1 作製者は成果有体物を関係法令等の定める管理方法により適切に管理する。
- ・注2 産学官研究推進センターは、成果有体物の権利関係、管理状況等を台帳、データベース等で適切に記録する。

- ・成果有体物の取扱いに関する規程の制定(2013年4月から施行)

研究倫理オフィス (Web)

<http://www.waseda.jp/rps/ore/>



Office of Research Ethics

早稲田大学研究倫理オフィス

▶ ホーム

▶ 本学の研究倫理に係る取り組み

▶ 憲章・行動規範

▶ 学術研究倫理委員会

▶ 倫理審査に関する手続き

▶ 研究倫理科目・講習等

▶ 利益相反マネジメント

▶ お問い合わせ先

▶ 関連リンク集

LATEST NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

2012年12月14日

[人を対象とする研究等倫理審査 審査結果 更新](#)

人を対象とする研究等倫理審査の2012年度審査結果を更新しました。

2012年12月13日

[遺伝子組換え実験及び動物実験 2013年度申請関係書類掲載](#)

遺伝子組換え実験及び動物実験の2013年度申請関係書類を掲載しました。

2012年11月15日

[2013年度 厚生労働科学研究に関する利益相反マネジメントの実施について 学内LAN限定](#)

2013年度 厚生労働科学研究に関する利益相反マネジメントの実施についての情報を公開しました。

2012年10月22日

[ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会 議事内容 公開](#)

ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会 議事内容 公開しました。

「研究倫理概論」An On-line Course: 内容

- 第1回 はじめに:なぜ研究倫理か 土田 友章
- 第2回 現代社会における科学技術 綾部 広則
- 第3回 EU/欧米諸国における研究倫理 福田 耕治
- 第4回 研究における不正行為:FFP(ねつ造・改ざん・盗用)の実際
白楽 ロックビル
- 第5回 研究における不正行為と法、利益相反 横野 恵
- 第6回 研究計画のあり方 山内 繁
- 第7回 被験者保護の基本① 齋藤 有紀子
- 第8回 被験者保護の基本② (動物実験を含む) 田村 京子

「研究倫理概論」An On-line Course: 内容

- 第9回 心理学と研究倫理 三嶋 博之
- 第10回 研究ノートとデータ管理の実践 大須賀 壮
- 第11回 メンターとトレイニー、Authorshipと出版の倫理、共同研究
土田 友章
- 第12回 知的財産権をめぐって 高林 龍
- 第13回 企業と研究倫理 大塚 英明
- 第14回 安全保障と科学技術：科学技術のミスユースのリスクと
科学者の責任 古川 勝久
- 第15回 研究倫理の実践：早稲田大学の体制 石山 敦士
おわりに 土田 友章

さらなる充実に向かって：8年間の経験にもとづいて

■ a しくみ

- Research Integrity Officer (健全な研究と環境のための係員) の養成, URAとの協力; 「聴く耳」; 独立した監査委員会?
- 研究指導者・教員の啓発 faculty development in research integrity and ethics
- 国内外の他大学との連携
 - ◇ 研究倫理自体の透明性・倫理性の点検・向上のために;
とりわけ対象者/被験者の人格の尊敬, 人間の尊厳
 - ◇ 日本の大学・研究者の国際化 とくに, 東アジア, オセアニア

さらなる充実に向かって

■ b 教育

- 健全性(integrity)の実地モデルの教育：
Online learning + 対面討論
研究倫理を単なる概念・術語の知識/情報にしないために
- 文化伝統的関係性の反省： 組織倫理への注意
- 大学教育と学園生活の倫理性： 大学教育の倫理性
よりよい人生，社会・世界・地球環境と将来世代への責任
- 教材 英語版などの必要
市販のものを使うか (CITI, Epigeum, The Lab, etc.)
- 理系と文系との複線化

さらなる充実に向かって

■c 研究・調査の現場

- ・信頼と知的透明性, 研究室全員の相互理解・信頼をめざして:
正直, 信頼, 厳密, 人格の尊重, 人間の尊厳
(主任研究員PIたちへの研修)
- ・倫理は単なる知識ではない, 不断の自他教育を通して
世界/人間性に参加・共構成してゆく
- ・専門職の倫理 と 市民・人間としての倫理を如何に結ぶか

ご清聴有り難うございました。

ご批判，ご示教をお願いできれば幸いに存じます。